

平成29年度第一回ユニット型特養運営推進会議

施設長

係長

主任

- ① 日 時 平成29年5月16日(火) 14:00~15:00
- ② 場 所 伯寿の郷 面談室
- ③ 参加者 森本富枝様、秦和男様、佐伯和子様、河野友香様、小松原祐二様
仲佐施設長、谷上相談員
- ④ 書記 谷上

(内 容)

1. 構成員顔合わせについて

構成員の顔合わせを行う。今回欠席の永井様を含めて6名の構成員で会議を進めていく。ご利用者代表については都度変更する可能性がある。ご利用者代表の森本様に生活のご様子を伺う。

仲佐施設長「森本様、ここでの生活はどうでしょうか。」

森本様「まだ慣れません」

仲佐施設長「そうですね、何か生活に不安がありますか。何かあったら、職員にいつでもおっしゃってくださいね。」

森本様「そうですね。」

谷上相談員「森本様のおうちはどちらでしたでしょうか。」

森本様「城山です。」

秦様「城山といいますと、川を渡ってすぐのところですね。」

仲佐施設長「森本様はショートステイの時からのお付き合いですので、とても長く関わりを持っています。ご家族の理解もあり、正月にも帰省し外泊もされました。これからも家に帰る機会を作っていきたいと思っています。」

谷上相談員「プラーナに外出した事を覚えていますか。」

森本様「はあ。(写真を見て嬉しそうなご様子)」

2. 生活記録について

谷上相談員よりご利用者の生活記録について、プラーナの外出報告についてと、パン作りについての報告を行う。

仲佐施設長「今までも様々な生活の取り組みをしていましたが、パン作りはなかったかなと思います。昨年からユニットケアを職員がまず理解するために、リーダーを中心に勉強会を始めました。これからもユニットらしさを出していくために、何かに特化し、成功体験を積み重ねていきたいと思っています。生活の中での香りもとても大切で、本人の嗜好に合った食事の提供も進めていきたいと思っています。」

小松原様「日々の生活の状況を普通の生活に近づけている事はわかりました。ご利用者の反応はいかがですか」

仲佐施設長「ご利用者からおいしいの声があったと聞いています。但し、全員が全員出ているというわけではありません。そういうニーズがある方を中心に楽しんで頂けてはいるのではないかと思います。」

小松原様「参加されている方の会話のキャッチボールは出来ていますか。」

仲佐施設長「入所者によって、様々です。出来る方も出来ない方もいらっしゃいます。」

秦様「パンの取り組みは良いですね。香りがまた良いかと思っています。」

仲佐施設長「買ってくるものとは、また違うのかなとも感じています。」

秦様「こうして外出されると、また気分も違いますもんね。」

仲佐施設長「この外出のように、自分でみて選ぶことも社会性の広がりや、喜びに繋がるのだと思います。」

秦様「出かける事も元気につながりますしね。」

仲佐施設長「外出は入所の方に限らず、ショートステイの方にとっても良いと思っています。介護サービスだけでなく外出をする事が地域との繋がりを作っていく事にもつながっていきます。」

3.地域交流について

谷上相談員より、大道芸人ショー、赤屋健康教室の取り組みについて報告を行う。

谷上相談員「大道芸人ショーは私の繋がりのご縁で、今回芸人さんにお越しいただきましたが、近隣施設の方や子ども園安田の園児さんもお越しいただき、100名以上の方に見て頂けたのではないかと考えています。健康教室に関しては昨年に引き続き、内容の充実を図っていきたくと思っています。4月は赤屋の学童さんとの交流会、5月はげんき堂さんによる福祉用具の体験会等を行いました。今後も様々な機関との連携を図っていきたくと考えています。」

仲佐施設長「大道芸人ショーに関しては、近隣施設から総出でお越しいただきました。子ども園さんとの交流ができたこともとても良かったと思っています。健康教室に関しても継続して行っており、毎回10名程度の方にご参加いただいております。内容も今真のままが良いのか、検討を重ねていきたくと思っています。また、赤屋だけでなく他地区においても活動が出来るよう、検討しています。」

河野様「二次予防で私が関わっている方で、健康教室に参加したいと言っておられる方がいらっしゃいます。ただなかなか日程が合わず参加できず、残念そうでした。この最初の月曜日に実施しておられるという事はどのような意味があるのでしょうか。」

谷上相談員「特に月曜日でないといけない理由はありませんが、地域の方に覚えて頂きたく曜日を固定しています。最初の月曜日に赤屋の交流センターに行けば何か楽しい事がしている、そんな風に地域の方に認識して頂けると嬉しく思っています。」

小松原様「以前の報告で健康教室以外にもミニデイにも参加されているとおっしゃっておられましたよね。安田地区でも2地区でミニサロンを実施していますが、内容を考える事に苦労されていると聞いてます。そういった時は谷上さんにご相談すればよろしいのでしょうか。」

谷上相談員「大丈夫ですよ。担当の方と日程や内容を相談しながら進めていきたくと思います。基本的にはレクリエーション等の内容を教えるような形で関わりを持ってたらと思っています。」

4.内部研修について

3月、4月に実施した内部研修について谷上相談員より報告を行う。

仲佐施設長「緊急時には練習のように実際に動く事は難しいと思っています。ですので、年間1回は確認の意味も込めて研修を実施する事が必要ではないでしょうか。このように練習をしているとしていないとでは、本当に緊急の場面に立ち会った時、大きな違いがあるかと思っています。」

小松原様「研修報告の中で委員会があるとのことですが、全職員が参加しているのでしょうか。」

仲佐施設長「そうですね。ひとつの委員会に6.7名の方が参加しています。今回は職員に希望を募り委員会を決定しました。希望通りにならなかった職員もいますが、出来る限りの配慮はしています。」

河野様「職員さんからこういった研修を受けてみたいといったような意見とかはありますか。」

谷上相談員「今回、職員からの要望を伺った所、認知症や、レクリエーションの研修会等を受けたいといった意見がありました。可能な限り、職員が受けたいと思う研修を企画していきたくと思っています。」

仲佐施設長「緊急時対応については一番は連携や伝達ではないかと思っています。今回の研修を行いながら、誰がどの様に連絡や対応をするのか等様々な疑問がでました。」

秦様「緊急時対応は地域でも必要に感じています。」

小松原様「研修などで他施設の視察などはありますか。」

仲佐施設長「現在はありますが、昨年老施協の安来圏域で合同の新人職員研修会を実施した事がありました。今年も継続するかは現在、検討しています。」

5.その他

次回は7月18日(火)14:00～15:00